

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月8日(水) 5校時  
児 童 男16名・女17名 計33名  
指導者 佐藤謙司

### 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

教材名 「ニュース番組作りの現場から」／「工夫して発信しよう」 (光村図書5年下)

### 2 単元について

#### (1) 能力について

学習指導要領の第5・6学年の国語の目標(3)は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。「C 読むこと」における目標(オ)には、「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」とある。また、言語事項オ(ア)には、「文や文章には、いろいろな構成があることについて理解する。」とある。こういう力を培う上で教材はとても適したものである。

#### (2) 児童について

児童は、4年上『『かむ』こと力』で「初め」「中1・中2」「まとめ」、5年上「サクラソウとトラマルハナバチ」で「問題提示」「問題解決1」「問題解決2」「まとめ」という文章構造について学習している。また、要旨をまとめ、筆者の考えに対して自分の考えを持つという活動もしている。

4月に実施された標準学力調査では、「説明文の内容を読み取る」の平均正答率は、75.8%であった。期待正答率を100とすると110にあたり、期待値を高く超える結果となっている。しかし、個人では25%の子が3名いたり、要旨をつかむ問題では48.5%であったり、ばらつきが大きい。

このようなことから、本教材では、時間の経過や重要語句に着目させながら要旨をとらえられるようにしていきたい。

#### (3) 教材について

本教材は、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」からなる複合単元であり、発信する情報を目的に合わせて整理し、編集して伝えるということをねらいとしている。

本教材「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた説明文である。時間の経過を表す言葉を使って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などが分かりやすく整理されている。文章構造としては、時系列に沿って書かれてあり、大事な事柄に注意して読み取る文章としては分かりやすいものになっている。

しかし、主語のない文章が多く、誰がしている仕事か分かりにくかったり、「このように」「つまり」などの接続後がないため、筆者の意図がとらえにくかったりするところもある。

#### (4) 指導にあたって

「ニュース番組作りの現場から」でニュース番組の「特集」の制作過程を理解した後、「工夫して発信しよう」で実際に自分が伝えたいことをまとめ発信することにつながる。本教材での読みをしっかりとっておく必要がある。

① 第一次では、練習教材に取り組み、本教材で扱う「要旨」「段落構成」などの言語事項に触れ、

レディネスをそろえる活動をする。その後、本教材を読み、ニュース番組に対する感想を持つたり、関心を高めたりする。

- ② 第二次では、段落の構成や制作の過程を分かりやすく理解するために、時間を表す言葉を手掛かりに、時系列に沿って表にまとめていく。全体的な構造をとらえさせていく。各過程の内容を理解させるために、「工夫」「分かる」「最も」などの言葉に着目させながら、大切なことや工夫していることを読み取らせていく。また、主語が明確になっていない文では、主語を明確にさせながら、筆者の意図をとらえさせるようにしていきたい。そして、⑫段落の要旨をまとめる学習につなげていきたい。
- ③ 第三次では、「ニュース番組作りの現場から」での読み取りを生かし、目的意識・相手意識を明確にした企画書「わたしの特集」をまとめ、自分たちが伝えたいことをどのように伝えるかを考えさせ、発信する活動を行いたい。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

- ◎ 文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
- ◎ 伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

#### (2) 評価規準

国語への関心意欲態度	読む能力	書く能力	言語についての知識理解技能
ニュースを探して伝えることに興味を持ち、伝え方や内容を工夫しようとしている。	テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理して要旨をまとめている。(読オ)	目的や相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して書いている。(書エ)	時間の順序を表す言葉、段落ごとの重要語句、接続後、文末表現などから文章の構成をとらえることができる。

### 4 指導計画 (15時間)

ニュース番組作りの現場から				
過程	時	学習活動	指導事項・留意点	評価規準
第 一 次	1	○練習教材を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を表す言葉や要旨などを書く練習教材に取り組む。</li> <li>・初めて知ったことや興味を持ったことを書き、感想を交流する。</li> <li>・分からない言葉を辞書で調べる。</li> </ul>	<b>【関】</b> 教材文の内容から初めて知ったことや興味を持ったことをノートに書いてある。
	2	○学習の見通しを持つ。 ・単元名や題名から学習の内容を知る。 ・本文を通し読みし、感想を持つ。		
	3	・語句の確認をする。		

第 二 次	4	○ニュース番組の「特集」ができるまでの様子を読み取る。 ・段落ごとに「特集」ができるまでの過程を表に整理し、概要と段落構成をとらえる。	・形式段落に番号をつける。 ・形式段落の中心語句を□で囲む。 ・「時間を表す言葉」を□で囲む。 ・教科書 P38「学習」を参考に表の形式を示し、一緒に整理していく。	【読】「特集」ができあがるまでの過程を、教材文を手掛かりにしなが ら表にまとめている
	5	・①②③段落を読み、話題の決定までの大切なことを読み取る。	・「特集」が作られるきっかけは何か。報道スタッフの役割は何かを明確にする。	【読】番組づくりのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることを正確に読み取っている。
	6	・④⑤⑥⑦段落を読み、取材から撮影内容決定までの大切なことや気をつけることを読み取る。	・「取材」「大切」「また」「それで」「なぜ」「これらのこと」の言葉に着目させて指導する。	
	7 本 時	・⑧⑨⑩⑪段落を読み、撮影から放送までの大切なことや気をつけることを読み取る。	・「撮影」「編集」「放送用原稿」「放送」「工夫」「分かる」「最も」などの言葉に着目させて指導する。	
	8	・⑫段落を読み、「特集」が作られる過程と報道スタッフの願いを読み取り、要旨をまとめる。	・文節が表している意味は、どの過程・どの段落を示しているのか、比べながら読み進める。 ・重要語句を使いながら書く。	【読】内容を的確に押さえながら要旨をとらえている。
工夫して発信しよう				
第 三 次	9	○「工夫して発信しよう」を読み、グループでニュース番組を作る。	・相手意識、目的意識をはっきり持たせ、そのための効果的な方法を考えるようにさせる。	【書】目的に応じて必要な材料を集めている。
	10	・「わたしの特集」というテーマの企画書を書く	・前に書いた企画書を基にグループを編成し、企画会議を開く。	【書】教材文から学んだ編集や発信の方法を生かし、材料を選んだり配列を考えたり、また写真や図表との関係も考えたりして原稿を書いている。
	11	・教材文を基に、情報発信するまでの手順を確認する。		
	12	・グループごとに企画会議を開く。	・教師が受信者となり、問題点や改善点をグループごとに指摘する。	
	13	・グループごとに取材・編集をする。		
	14			
	15	・情報を発信し、発信者の意図と受信者の感想を交流する。	・発信の意図や工夫点を明らかにしてグループ発表させる。	

## 6 本時の指導

### (1) 目標

ニュース番組を作るときに、大事なことや工夫することを読み取ることができる。

### (2) 指導の構想

本時では、ニュース番組の「特集」が放送されるまでの4つの過程を取り上げる。4つの過程とは何か、学習課題を解決するための重要語句は何かを考えながら、内容の理解を図りたい。それぞれの工夫点には、「分かるように」という共通するものがあり、誰にとって「分かるように」なのか、主語を明確にさせていく。そうすることで、「特集」を作るために大切なことを見せてくる。

本時は、過程を表す言葉「撮影」「編集」「放送用原稿」「放送」、大事なことを示す言葉「工夫」「必要」「しなければならない」「分かる」などの重要語句に着目させて指導していく。

### (3) 展開

段階	学習活動	教師の支援	評価
つかむ	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材で大事なことや取材結果から分かったことについて確認する。</li> </ul>	
	2 本時の学習課題を確認する。		
8分	ニュースが放送されるまでの過程で、大切なことを読み取ろう。		
	3 学習場面を読む。 ・音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4つの過程の「撮影」「編集」「放送用原稿」「放送」を確認する。</li> <li>各過程で大切にしていることは何かを考えながら音読する。</li> <li>⑧⑨⑩⑪を指名読みする。</li> </ul>	
ふかめる	4 学習場面を読み取る。 ・重要語句を探し囲ませる。 「大切なことを読み取るのに、ヒントになる言葉は何ですか。」 ・工夫していることを探す。 「工夫していることにアンダーラインを引きましょう。」 ・それぞれの過程で工夫していることを確認する。 「撮影で工夫していることは何ですか。」 「編集で工夫していることは何ですか。」 「原稿作りで工夫していることは何ですか。」 「放送で大切なことは何です	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読み取りの手引き」を参考にして重要語句に着目させていく。</li> <li>「工夫」「最も」「分かる」という言葉を□で囲ませる。</li> <li>重要語句を手掛かりに、工夫点にアンダーラインを引かせる。 できた子は、隣の子と確認しあう。</li> <li>「分かる」という言葉に着目させて考えさせる。</li> <li>撮影：目で見て分かるように 編集：答えが分かるように 放送用原稿：耳で分かりやすいように 放送：最も伝えたいことで結ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要語句を見つけ、□で囲むことができる。</li> <li>○各過程において工夫する点を見つけ、サイドラインを引くことができる。</li> </ul>

32分	か。」  ・「それぞれの過程で工夫するのはなぜですか。」	・主語を確かめ、誰にとって「分かるように」なのかはっきりさせる。誰に「伝えたい」のかはっきりさせる。 ・それぞれの過程で「工夫する」理由を話し合うことによって、ニュース番組の「特集」の意味を考えさせる。	○各過程で工夫する理由をノートに書くことができる。
まとめ	4 本時の学習を振り返る ・大切なことについてまとめる。	・ノートにまとめ、感想を書く。	
	大切なことは、伝えたい相手に、分かりやすく伝えるために、さまざまな工夫をすることです。		
5分	5 次時の学習内容を知る。 ・まとめの音読をする。	・次時は、報道スタッフの願いについて学習することを伝える。	

(4) 具体の評価基準

A:番組作りの各過程で大事な点や気をつけることを正確に読み取ることができる。

B: 番組作りの各過程で大事な点や気をつけることを読み取ることができる。

Cへの配慮：中心語句を見つけさせたり、友達の考えを聞きながら、読み取れるようにする。

(5) 板書計画

ニュース番組作りの現場から

清水 建宇

ニュースが放送されるまでの過程で、大切なことを読み取る

う。

〈過程〉  
工夫・大事

さつえい  
目で見て分かるように

写真  
住民がいること  
住民の近くに富士山があること

編集  
六時間を  
八分間に  
答えが分かるように  
前半 なぜ実現したのか  
後半 住民はどう思ったのか

放送用原稿  
耳で分かりやすく  
言葉を選ぶ  
はじめに結論、後に理由  
一文を短く  
地図・表

放送  
最も伝えたいことで結ぶ  
火山をよく知ることが、一番の  
防災です。

放送用原稿  
で分かるように

大切なことは、伝えたい相手に、工夫をして分かりやすく伝えることです。

(6) 学習の手引き

学習の進め方の手引き (5 学年)

学習の順序		学習の仕方
1	題名を読む。	① 題名を読み、何についての話かつかむ。
2	通し読みをする。	① 分からない語句に印をつけながら読む。
3	初めての感想を書き、学習の見通しを持つ。	① 疑問、初めて知ったこと、不思議に思ったことなどを書く。
4	新しい漢字や語句を調べる。	① 国語辞典や漢字辞典を使って調べる。
5	音読練習をする。	① すらすら読めるように音読練習をする。
6	文章を読み進める。	①形式段落に番号を付ける。 ② 問いの文に「___」を引く。 ③ 形式段落の書き出しの「接続後」や「順序を表す言葉」を□で囲む。 ④ 「問いの文」「接続後」「文末表現」に着目して、意味段落を予想する。 ⑤ 形式段落ごとの「中心語句」に_____を引く。 ⑥ 意味段落に分ける。 ⑦ 段落と段落のつながりを考え、文章構成図に表わす。 ⑧ くわしく読む。 ・内容をつかみながら読む。 ・指示語を囲み、指示語が指すものを見つけ、置き換えながら読む。 ・「文末表現」に着目し、「事実」と「意味」を区別しながら読む。 ⑨ 文章表現の工夫を見つけ、その効果について考える。
7	要旨をまとめる。	① 「筆者の述べたいこと」の中心をまとめる。
8	筆者に主張に対する自分の考えをまとめ、交流しあう。	① 筆者の主張に対する自分の考えを、根拠を明らかにしながら書き表す。 ② 互いに考えを交流する中で、ものの見方や考え方を広げる。
9	練習・評価をする。	① 練習問題を解く。(単元の始めにすることもある。) ② 評価問題を解く。

読み取りの手引

**重要語句を見つける力**

① **VS**返し出しの言葉。  
(意味段落の中で)

② **まとめ**に使える言葉  
(形式段落の中で)

③ **小見出し**になる言葉  
(形式段落の中で)

読み取りの手引

**要旨をまとめる力**

① 筆者が、最も言いたいことが書いてある段落  
を見つけよう。  
\*はじめの段落か、おわりの段落。

② 筆者が、最も言いたい文が書いてある文を見  
つけよう。  
\*「文末表現」や「接続語」に着目。

③ **重要語句**を使って書こう。  
\*形式段落にある重要語句は、まとめの段落でも使  
われる。

④ **短い文章**でまとめよう。(1000字程度)